

第7回 生薬ソムリエ（初級）試験

【解答の部】

問（1）顕微鏡で観察した際にデンプン粒が確認できない生薬はどれか。

- ① 甘草
- ② 木香
- ③ 当帰
- ④ 鬱金
- ⑤ コロンボ

解答：②

解説：

- ①カンゾウ：本品の横切片を鏡検するとき、～中略～。柔細胞はでんぷん粒を含み、また、しばしばシュウ酸カルシウムの単晶を含む。
- ②モッコウ：鏡検なし
- ③トウキ：本品の横切片を鏡検するとき、～中略～でんぷん粒は単粒又はまれに2～5個の複粒で、単粒の径は20 μm 以下、複粒は25 μm に達することがある。でんぷん粒はしばしば糊化している。
- ④ウコン：本品の横切片を鏡検するとき、～中略～。糊化したでんぷんを含む。
- ⑤コロンボ末：本品を鏡検するとき、多数のでんぷん粒及びこれを含む。

問（2）顕微鏡で観察した際に気孔が確認できない生薬はどれか。

- ① マオウ
- ② ジュウヤク
- ③ シゴカ
- ④ インヨウカク
- ⑤ アマチャ

解答：③

解説：気孔は植物体の表面にある小さい孔（あな）です。気孔が開閉することで、植物と大気の間で二酸化炭素や酸素、水などの交換が行われます。気孔の形は種間で大きく異なります。また、気孔の数（密度）は種間・種内・葉の表裏・葉位・生育環境で異なります。葉だけではなく、茎や芒、葉鞘、花、果実などの表皮にも気孔はあります。 http://www.alrc.tottori-u.ac.jp/plant/pores_of_the_plant.html

- ①マオウ：地上茎
- ②ジュウヤク：花期の地上部
- ③シゴカ：根茎で、しばしば根を伴う
- ④インヨウカク：地上部

⑤アマチャ：葉及び枝先

問（３）原植物が属する科が異なる生薬はどれか。

- ① ホミカ
- ② センナ
- ③ ソボク
- ④ アラビアゴム
- ⑤ オウギ

解答：①

解説：

- ①ホミカ：Loganiaceae マチン科
- ②センナ：Leguminosae マメ科
- ③ソボク：Leguminosae マメ科
- ④アラビアゴム：Leguminosae マメ科
- ⑤オウギ：Leguminosae マメ科

問（４）単子葉植物綱に属する科（Family）はどれか。

- ① Ranunculaceae
- ② Lardizabalaceae
- ③ Menispermaceae
- ④ Zingiberaceae
- ⑤ Araliaceae

解答：④

解説：

- ①Ranunculaceae キンポウゲ科
- ②Lardizabalaceae アケビ科
- ③Menispermaceae ツツラフジ科
- ④Zingiberaceae ショウガ科
- ⑤Araliaceae ウコギ科

https://www.sakusakura.jp/column_blog/archives/1207

子葉とは最初の葉っぱのことで、植物は最初に生える葉っぱ(芽)の枚数で分類されます。子葉が一枚だと単子葉類、子葉が二枚だと双子葉類となります。次に根っこの形について考えましょう。双子葉類は、大きな根っこ(主根)があり、そこから側根が枝分かれています。単子葉類は、ひげのような細かい根(ひげ根)が集まったものに分かります。

問（5）次に挙げる生薬の中で、原植物の花の色が他の4種と異なるものはどれか。

- ① Bitter Orange Peel
- ② Coptis Rhizome
- ③ Leonurus Herb
- ④ Cnidium Rhizome
- ⑤ Cimicifuga Rhizome

解答：③

解説：

- ①Bitter Orange Peel トウヒ 白色
- ②Coptis Rhizome オウレン 白色
- ③Leonurus Herb ヤクモソウ 淡紅色
- ④Cnidium Rhizome センキュウ 白色
- ⑤Cimicifuga Rhizome ショウマ 白色



③ヤクモソウ



① トウヒ



②オウレン



④センキュウ



⑤ショウマ

問（6）山梔子の原植物について、正しい記載はどれか

- ① 花は淡紅色である
- ② 花は黄色い
- ③ 花ははじめ黄色くて後に淡紅色になる
- ④ 花ははじめ黄色くて後に白くなる

⑤ 花ははじめ白くて後に黄色くなる

解答：⑤

解説：花は初夏に白色で、芳香が強い。

6月 → 7月



問（7）枳実と枳殻について、正しい記載はどれか

- ① 薬効は全く異なる
- ② 原植物が異なる
- ③ 敢えて使い分ける必要は無い
- ④ 薬効は枳実の方が鋭い
- ⑤ 原形は枳実の方が大型である

解答：④

解説：。

『中医臨床のための中薬学』

枳実と枳殻は基原が同じであり、夏至前に採取した幼果で小さなものが枳実、秋季に採取した成熟果実で大きなものが枳殻である。

李時珍は「枳実と枳殻は、性味効用ともに同じ、上世また分別なく、魏晋以来、はじめて実と殻の用を分つ」と述べているが、枳実の効能は猛烈で、枳殻は緩和である。

破積導滯・通利大便には枳実を、理気寛中・消除脹満には枳殻を用いる。

問（8）ハマスゲとハナスゲに関する記載で正しいものはどれか。

- ① とともに原植物は同じ科に属する
- ② とともに薬用部位は地下部である。
- ③ 後者は前者の異名である。
- ④ 両者は同じような環境に生える。

⑤ ともに日本に自生する。

解答：②

解説：

コウブシ：ハマスゲ *Cyperus rotundus* Linné (Cyperaceae)の根茎…カヤツリグサ科、熱帯、亜熱帯に広く分布し、本州、四国、九州の向陽の砂質地及び原野に産す。

チモ：ハナスゲ *Anemarrhena asphodeloides* Bunge (Liliaceae)の根茎…ユリ科、中国東北部から河南の日当たりの良い乾燥した丘陵地や砂丘に自生する。



ハマスゲ



ハナスゲ

問（9）ベニバナの種子の色は何色か

- ① 白色
- ② 褐色
- ③ 黒褐色
- ④ 黄色
- ⑤ 赤紫色

解答：①

解説：

<http://plantsnote.jp/note/15579/117628/>



問 (10) 薬用には夏の土用に採集するのが適しているとされる生薬はどれか。

- ① センブリ
- ② ジュウヤク
- ③ ニンジン
- ④ レンギョウ
- ⑤ サンシュユ

解答：②

解説：「土用」とは立春、立夏、立秋、立冬直前の約 18 日間を指す言葉。古代中国の陰陽五行説（いんようごぎょうしそう）において、「この世のすべては、木・火・土・金・水の 5 つの要素でできている」とされてきました。それを季節に当てはめた場合、木は新緑の春、火は燃えるような熱さから夏、金は実りをあらかず秋、水の流れる音のように静かな冬となり、余った「土」を季節の変わり目に割り当て「土用」と呼ぶようになった。

- ①センブリ：開花期の全草。夏の終わりから秋に開花する
- ②ジュウヤク：ドクダミ *Houttuynia cordata* Thunberg (Saururaceae) の花期の地上部である。花期 5～6 月。昔から「夏の土用の丑の日に採ったドクダミは効く」といわれる。
- ③ニンジン：秋に収穫する
- ④レンギョウ：秋中頃に良く熟した黄色の果実を採集する
- ⑤サンシュユ：秋、実が赤く熟してから

問 (11) 食用にもなる薬用植物はどれか。

- ① *Benincasa cerifera* Savi
- ② *Polyporus umbellatus* Fries
- ③ *Sinomenium acutum* Rehder et Wilson
- ④ *Caesalpinia sappan* L.
- ⑤ *Asiasarum sieboldii* F. Maekawa

解答：①

解説：

- ① トウガシ：トウガン *Benincasa cerifera* Savi
- ② チョレイ：チョレイマイタケ *Polyporus umbellatus* Fries
- ③ ボウイ：オオツツラフジ *Sinomenium acutum* Rehder et Wilson
- ④ ソボク： *Caesalpinia sappan* Linne
- ⑤ サイシン：ウスバサイシン *Asiasarum sieboldii* F. Maekawa



問 (12) 以下に示す生薬の中で、保存の際に比較的虫害を受けにくい生薬はどれか

- ① ダイオウ
- ② ウイキョウ
- ③ ニンジン
- ④ トウキ
- ⑤ ブシ

解答：②

解説：一般的に糖質、でんぷん質が高く、香りの高いものが虫害を受けやすい。

- ① ダイオウ：◎
- ② ウイキョウ：△
- ③ ニンジン：◎
- ④ トウキ：◎
- ⑤ ブシ：○

そのほか、オウギ、カンゾウ、キキョウ、サンヤク、センキュウ、タクシャなどもよく虫害に合う

問 (13) 写真に示す植物は何れの生薬の幼苗か。

- ① RHEI RHIZOMA
- ② BEZOAR BOVIS
- ③ MENTHAE FOLIUM
- ④ PHARBITIDIS SEMEN
- ⑤ HOUTTYNIAE HERBA



解答：④

解説：

- ① ダイオウ *Rheum palmatum* Linne
- ② ゴオウ

- ③ハッカ *Mentha arvensis* Linné var. *piperascens* Malinvaud
- ④ケンゴシ：アサガオ *Pharbitis nil* Choisy
- ⑤ジュウヤク：ドクダミ *Houttuynia cordata* Thunberg

問（14）写真に示す植物は何れの生薬の幼苗か。

- ① 附子
- ② 香附子
- ③ 半夏
- ④ 益智
- ⑤ 縮砂



解答：③

問（15）次の生薬の中で、蜜炙加工を行うことがあるものはどれか。

- ① RHEI THIZOMA
- ② CITRI UNSHU PERICARPIUM
- ③ SOPHORAE RADIX
- ④ PINELLIAE TUBER
- ⑤ EPHEDRAE HERBA

解答：⑤

解説：

- ①ダイオウ：酒大黄、熟大黄、炒大黄、大黄炭、醋大黄
 - ②チンピ：炒陳皮、焦陳皮、陳皮炭、制陳皮
 - ③クジン
 - ④ハンゲ：清半夏、姜半夏、法半夏
 - ⑤マオウ：制麻黄、蜜麻黄
- そのほか、蜜炙黄耆、蜜炙甘草

問（16）水蒸気蒸留で製造される精油はどれか。

- ① オレンジ油
- ② オリーブ油
- ③ ナタネ油
- ④ ゴマ油
- ⑤ チョウジ油

解答：⑤

種類	詳細
精油	水蒸気蒸留から得た精油：ウイキョウ油（果実）、ケイヒ油、チョウジ油（つぼみ・葉）、テレピン油（材）、ハッカ油（地上部）、ユーカリ油（葉）
	圧搾して得た精油：オレンジ油（果皮）
脂肪油	圧搾して得た脂肪油：オリーブ油（果実）、ヒマシ油（種子）
	種子から得た脂肪油：ゴマ油、ダイズ油、ツバキ油、ナタネ油、ヤシ油、ラッカセイ油
	胚芽から得た脂肪油：トウモロコシ油

問（17）ジギタリスは近年取り入れられ始めた APG 分類では何科に属するか。

- ① オオバコ科
- ② ゴマノハグサ科
- ③ ジギタリス科
- ④ シソ科
- ⑤ ゴマ科

解答：①

解説：従来、植物学では新エングレー分類体系が用いられ、現在も多くの植物図鑑や植物園で広く使われている。日本薬局方の記載は新エングレー体系が使用されている。

ジギタリスは新エングレー分類ではゴマノハグサ科に分類された。しかし、APG 植物分類体系（Angiosperm Phylogeny Group）：「被子植物系統発生グループ」でゴマノハグサ科の多くはオオバコ科に移され、ジギタリスも APG 分類ではオオバコ科となった。

問（18）葉に明瞭な 3 脈が観察される植物はどれか。

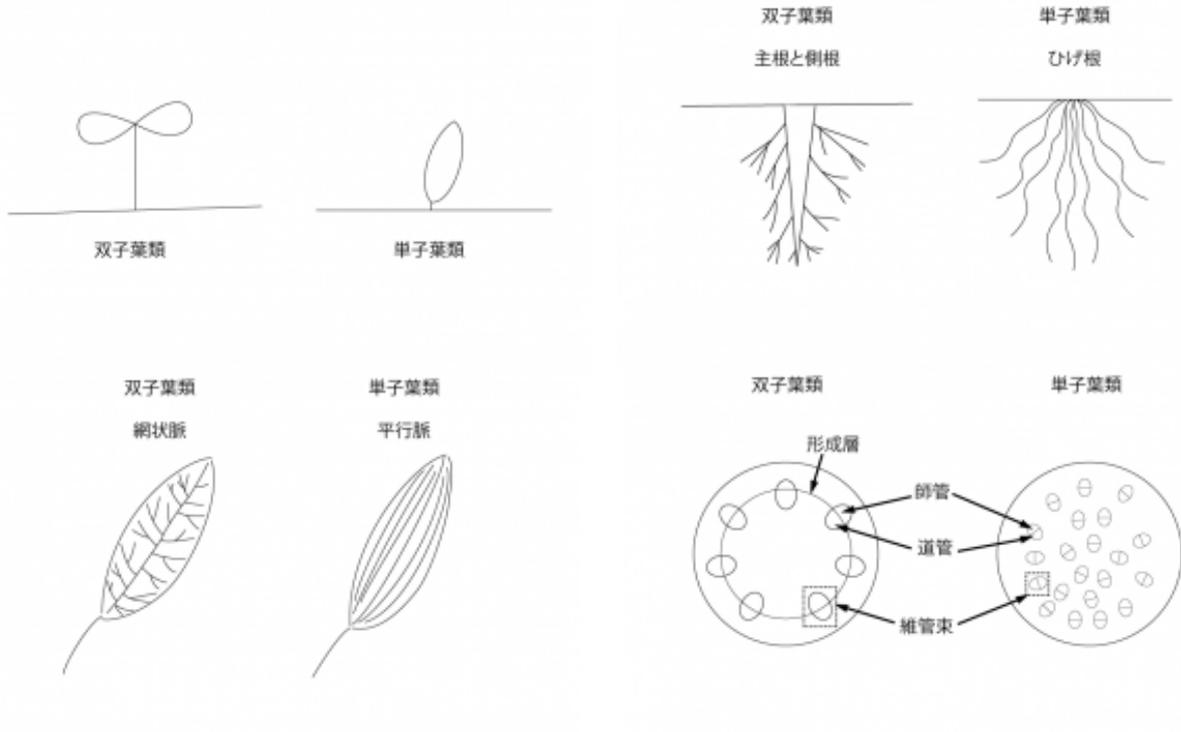
- ① カラスビシャク
- ② コカ
- ③ テンダイウヤク
- ④ クワ

⑤ キカラスウリ

解答：②③

解説：クスノキ科テンダイウヤク、ニッケイなど。

https://www.sakusakura.jp/column_blog/archives/1207



問 (19) シナカラスウリの花を7月に撮影した。撮影時間はいつごろか。

- ① 5時
- ② 9時
- ③ 12時
- ④ 15時
- ⑤ 18時



解答：⑤

解説：カラスウリは夜に開花する。

ほかにもハナスゲ、マツリカ、キダチチョウセンアサガオ、オオオニバス、オクラなども夜に開花する。

問 (20) 栽培時に種子を用いず、専ら株分けで苗を生産している生薬はどれか。

- ① 白芷
- ② 黄連
- ③ 川芎
- ④ 防風
- ⑤ 射干

解答：③

解説：日本で栽培されるが結実しないため、株分けで栽培される。

問 (21) 日局に「本品は扁球形又は球形を呈し、径2～5 mm である。外面は暗褐色～灰褐色で、油室による多数のくぼんだ小点がある。(中略) 本品は特異なおいがあり、味は辛く、後に残留性の苦味がある。」と記載された生薬は何か。

- ① Schisandra fruit
- ② Burdock fruit
- ③ Euodia Fruit
- ④ Apricot Kernel
- ⑤ Fennel

解答：③

解説：

①Schisandra fruit 五味子：本品は不規則な球形～扁球形を呈し、径約6 mm である。外面は暗赤色～黒褐色でしわがあり、また、ときに白い粉を付ける。種子は腎臓形を呈し、外面は黄褐色～暗赤褐色で、艶があり、背面に明らかな背線を認める。外種皮はたやすく剥がれるが、内種皮は胚乳に密着する。

本品は弱いにおい及び酸味があり、後に渋くて苦い。

- ②Burdock fruit 牛蒡子
- ③Euodia fruit 呉茱萸
- ④Apricot kernel 杏仁
- ⑤Fennel 茴香

問 (22) 日局に「本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、ペリルアルデヒド0.08%以上を含む。」と規定された生薬は何か。

- ① ソヨウ
- ② ビャクシ
- ③ ロジン
- ④ ケツメイシ
- ⑤ アセンヤク

解答：①

解説：

ソヨウ：本品はシソ *Perilla frutescens* Britton var. *crispa* W. Deane (Labiatae)の葉及び枝先である。
本品は定量するとき、換算した生薬の乾燥物に対し、ペリルアルデヒド 0.08%以上を含む。

問 (23) 日局に「本品は定量するとき、製法の項に規定した分量で製したエキス当たり、ペオニフロリン(C₂₃H₂₈O₁₁:480.46) 50～150 mg 及びグリチルリチン酸(C₄₂H₆₂O₁₆:822.93) 50～150 mg を含む。」と記載された漢方薬エキス剤は何か。

- ① 葛根湯
- ② 柴胡加龍骨牡蠣湯
- ③ 芍薬甘草湯
- ④ 桂枝茯苓丸
- ⑤ 八味地黄丸

解答：③

解説：

- ①葛根湯：エフェドリン、ペオニフロリン、グリチルリチン酸
- ②柴胡加竜骨牡蠣湯：JP 収載なし
- ③芍薬甘草湯：ペオニフロリン、グリチルリチン酸
- ④桂枝茯苓丸：(E)-ケイ皮酸、ペオニフロリン、アミグダリン
- ⑤八味地黄丸：ロガニン、ペオニフロリン、総アルカロイド(ベンゾイルメサコニン塩酸塩及び 14-アニソイルアコニン塩酸塩として)

問 (24) 写真の中で特定外来植物オオキンケイギクとともに生えている薬用植物は何か。

- ① *Houttuynia cordata*
- ② *Chrysanthemum morifolium*
- ③ *Cyperus rotundus*
- ④ *Hordeum vulgare*
- ⑤ *Imperata cylindrica*



解答：⑤

解説：

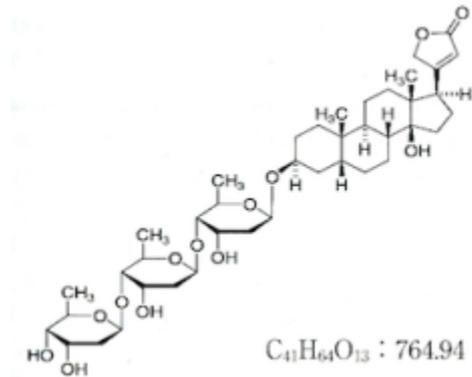
- ① *Houttuynia cordata* ジュウヤク：ドクダミ
- ② *Chrysanthemum morifolium* キクカ：キク

- ③ *Cyperus rotundus* コウブシ：ハマスゲ
- ④ *Hordeum vulgare* バクガ：オオムギ
- ⑤ *Imperata cylindrica* ボウコン：チガヤ



問 (25) 右図に示す化学構造の薬効は何か

- ① 瀉下
- ② 緩和
- ③ 鎮痛・鎮痙
- ④ 強心
- ⑤ 止瀉



解答：④

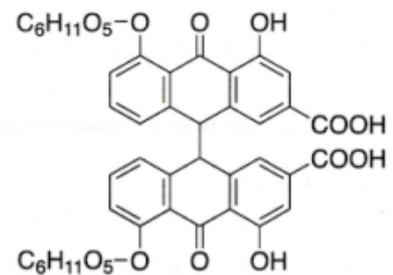
解説：ジギトシン。

ヨーロッパ原産の2年生又は多年生草本。鑑賞用としても栽培される。

環境が良いと高さ2メートルにも達する。葉から強心薬ジギトキシンを製造する。葉そのものも強心薬として用いられる。

問 (26) 右図に示す化合物を最も多く含有する生薬はどれか

- ① CASSIAE SEMEN
- ② RHEI RHIZOMA
- ③ ALOE PULVERATA
- ④ ROSAE FRUCTUS
- ⑤ GAMBIR



解答：②

解説：センノシド。

- ①CASSIAE SEMEN ケツメイシ：エモジン、アロエエモジンなど
- ②RHEI RHIZOMA ダイオウ：センノシド
- ③ALOE PULVERATA アロエ末：バルバロイン、アロエエモジン
- ④ROSAE FRUCTUS エイジツ：マルチノシド A、マルチフロリン A・B
- ⑤GAMBIR アセンヤク：カテキン

問 (27) ゲンノシヨウコに関して正しい記載はどれか。

- ① 花の色には赤、白、黄色などの変異がある。
- ② 和名は「幻の証拠」に由来するとされる。
- ③ 花弁は6枚である。
- ④ 花後に丸い果実がつく。
- ⑤ 園芸植物のゼラニウムと同じ科に分類される。

解答：⑤

解説：

ゲンノシヨウコ *Geranium thunbergii* Siebold et Zuccarini

現之証拠

夏に五弁の花を咲かせる。近畿以東は白花、以西は赤花が多い。

さく果は細く上向きで、熟すとお神輿の屋根状に開裂することから別名ミコシグサと言われる。



問 (28) ニンジンに関する記載文で、正しいものは何れか。

- ① 人参サポニンと同属植物にしかない特有な化学成分である。
- ② 糖参は砂糖で加工したものではなく、とくに甘味の強いものを言う。
- ③ 白参と紅参の原植物は同属の別植物である。

- ④ サポニンが6年生の太いものよりもヒゲ人参の方が多い。
- ⑤ 御種人参は人参の小苗を意味する。

解答：①④

解説：

- ①人参サポニン＝ジンセノサイド。竹節人参、西洋人参などにも含まれる。
- ②濃い砂糖水につけたもの。白糖参とも言われる。
- ③白参と紅参は、原植物は同じだが加工方法が異なる。
- ④サポニンは表皮に多いため、表面積が多くなるヒゲ人参は多い。
- ⑤御種人参は、湯通し加工した人参を指す。

問 (29) トウキに関して、実在しない名称は何れか。

- ① 大深当帰
- ② 信州当帰
- ③ 馬尾当帰
- ④ 当帰頭
- ⑤ 当帰尾

解答：②

解説：

- ①奈良大深地方の当帰。大和当帰とも。
- ②実在しない。信州大黄はある。
- ③当帰の形状からこのように呼ばれたことがある。
- ④主根部だけのもの
- ⑤枝根だけのもの

問 (30) ローヤルゼリーに関する記載の中で、間違っているものはどれか。

- ① 本品には、収れん性の酸味がある。
- ② ローヤルゼリーは、外敵の進入を防ぐために、巣箱の外側に作られる樹脂である。
- ③ ローヤルゼリーは、ミツバチの頭部にある分泌線から分泌される粘稠性のある液またはそれを乾燥したものである。
- ④ ローヤルゼリーには、10-ヒドロキシ-2- (E) デセン酸 4.0～8.0%を含む。
- ⑤ 本品を貯蔵するには、気密容器を用い、10℃以下で保存する。

解答：②

解説：②はプロポリスの説明。ローヤルゼリーは、ミツバチで、女王バチとなる幼虫を育てるため、働き

バチの咽喉腺(いんこうせん)から分泌される特殊な栄養物質。

本品はヨーロッパミツバチ *Apis mellifera* Linné 又はトウヨウミツバチ *Apis cerana* Fabricius (Apidae)の頭部にある分泌腺から分泌される粘稠性のある液又はそれを乾燥したものである。

本品は換算した生薬の乾燥物に対し、10-ヒドロキシ-2-(E)-デセン酸 4.0 ~ 8.0%を含む。

生薬の性状 本品は乳白色~淡黄色のやや粘稠な液又は粉末で、特異なおいがあり、収れん性の酸味がある。

貯法 保存条件 10°C以下で保存する。 容器 気密容器。

問(31) 写真に示す植物の薬用部位はどこか。

- ① 管状花
- ② 種子
- ③ 果実
- ④ 根茎
- ⑤ 根



解答：③

解説：写真はゴボウ。

ゴボウシ：本品はゴボウ *Arctium lappa* Linné (Compositae)の果実である。

ゴボウの特徴は、非常に大きな葉とアザミのような花。

問(32) 次の生薬と日局確認指標成分の組み合わせで、間違っているものはどれか。

- ① 淫羊藿／イカリイン
- ② 桂皮／ケイヒアルデヒド
- ③ 柴胡／サイコサポニン a
- ④ 五味子／ゴミシン A
- ⑤ 乾姜／6-ショウガオール

解答：④

解説：。

- ①淫羊藿イヌヨウカク：イカリイン○
- ②桂皮ケイヒ：ケイアルデヒド○
- ③柴胡サイコ：サイコサポニン a○
- ④五味子ゴミシ：ゴミシン A× シザンドリン○
- ⑤乾姜カンキョウ：6-ショウガオール○

問 (33) 生薬加工調製の際行われる硫黄燻蒸の目的として、間違っているのはどれか。

- ① 漂白
- ② 防虫
- ③ 非薬用部位の選別除去を容易にする
- ④ 保存性向上
- ⑤ 外面色を鮮やかにする

解答：③

解説：

硫黄燻蒸の目的

—防虫

—防黴

—色を鮮やかにする

- ・例：バイモ、サンヤク、テンマ→白いものが良品とされているため
- ・その他、クコシ、チモ、ショウキョウなど

—乾燥をしやすくする。

問 (34) 次の生薬のうち、日局で含有するアルカロイド成分の定量が規定されているものはどれか。

- ① 厚朴
- ② 吐根
- ③ 苦参
- ④ 檳榔子
- ⑤ 牡丹皮

解答：②

解説：

①厚朴：マグノロール 8.0 以上〔フェノール類〕

②吐根：総アルカロイド 2.0%以上

③苦参：規定なし

④檳榔子：規定なし

⑤牡丹皮：ペオノール 0.9%以上〔フェノール類〕

問 (35) 当帰と川芎の共通点を記載した。間違っているものはどれか。

- ① 原植物はセリ科植物である。
- ② 婦人科疾患に応用する。

- ③ 薬用部位は根である。
- ④ 当帰芍薬散に配合される。
- ⑤ 精油成分の ligustilide を含む。

解答：③

解説：

- ①○
- ②○
- ③×当帰＝根、川芎＝根茎
- ④○当帰芍薬散：当帰、川芎、芍薬、茯苓、白朮、沢瀉
- ⑤○当帰＝精油 ligustilide、川芎＝精油 ligustilide

問 (36) 生薬の原植物が、同属植物でない組み合わせはどれか。

- ① 天門冬と麦門冬
- ② 桃仁と杏仁
- ③ 枸杞子と地骨皮
- ④ 蒼朮と白朮
- ⑤ 鬱金と莪朮

解答：①

解説：①テンモンドウ：クサスギカズラ *Asparagus cochinchinensis* Merrill

バクモンドウ：ジャノヒゲ *Ophiopogon japonicus* Ker-Gawler

②トウニン：モモ *Prunus persica* Batsch 又は *Prunus persica* Batsch var. *davidiana* Maximowicz

キョウニン：ホンアズ *Prunus armeniaca* Linné, アズ *Prunus armeniaca* Linné var. *ansu* Maximowicz
又は *Prunus sibirica* Linné

③クコ *Lycium chinense* Miller 又は *Lycium barbarum* Linne 。クコシは果実、ジコッピは根皮

④ソウジュツ：ホソバオケラ *Atractylodes lancea* De Candolle, *Atractylodes chinensis* Koidzumi 又はそれらの雑種

ビャクジュツ：1) オケラ *Atractylodes japonica* Koidzumi exKitamura 2) オオバナオケラ *Atractylodes macrocephala* Koidzumi

⑤ウコン：ウコン *Curcuma longa* Linné

ガジュツ：ガジュツ *Curcuma zedoaria* Roscoe, 2) *Curcuma phaeocaulis* Valetton 又は 3) *Curcuma kwangsiensis* S. G. Lee et C. F. Liang

問 (37) 日局収載生薬の生薬ラテン名を記した。間違っているものはどれか。

- ① Uncariae Uncis cum Ramulus

- ② Magnoliae Flos
- ③ Tribuli Fructus
- ④ Lithospermi Radix
- ⑤ Hydrangeae Folium

解答：⑤

解説：

- ① UNCARIAE UNCIS CUM RAMULUS：釣藤鈎
- ② MAGNOLIAE FLOS：辛夷
- ③ TRITICI FRUCTUS：小麦
- ④ LITHOSPERMI RADIX：紫根
- ⑤ HYDRANGEAE DULCIS FOLIUM：甘茶
アジサイ＋甘い＋葉

問 (38) 以下に示す5種の薬用植物の中で、所属する科が異なるものはどれか。

- ① *Cornus officinalis*
- ② *Coptis chinensis*
- ③ *Cimicifuga dahurica*
- ④ *Aconitum carmichaeli*
- ⑤ *Clematis mandshurica*

解答：①

解説：ミズキ科。その他はキンポウゲ科。

- ① *Cornus officinalis* サンシュユ
- ② *Coptis chinensis* オウレン
- ③ *Cimicifuga dahurica* ショウマ
- ④ *Aconitum carmichaeli* ブン
- ⑤ *Clematis mandshurica* イレイセン

問 (39) 共通点のある4種類の生薬を並べた。間違った組み合わせはどれか。

- ① 瀉下薬とする生薬 (大黄・センナ・決明子・アロエ)
- ② 修治することがある生薬 (黄耆・人参・甘草・地黄)
- ③ 木本植物に由来する生薬 (桜皮・牡丹皮・アカメガシワ・黄柏)
- ④ Iridoid 化合物を含有する生薬 (地黄・杜仲・肉蓯蓉・キササゲ)
- ⑤ ナス科植物に由来する生薬 (ペラドンナ・ロート根・トウガン・地骨皮)

解答：⑤

解説：トウガシはウリ科。その他はナス科。

問（40）次の栽培に関する記載のうち、間違っているものはどれか。

- ① 紅花は主に中国から輸入され、日本でも山形県で少量栽培されている。
- ② センブリは長野、高知などの各県で栽培され、一部中国産も輸入されている。
- ③ 日局当帰は日本各所で栽培されているが、近年中国でも日局当帰の栽培が行われている。
- ④ 山椒は奈良県や和歌山県などで栽培が行われ、一部中国産も輸入され同様に用いられている。
- ⑤ 人參は日本や中国、韓国で栽培されており、中国では吉林省や黒竜江省などといった東北部と呼ばれる地域が主産地である。

解答：④

解説：基本的に日本産で賄われている。

問（41）釣藤鈎の原植物に関して以下の記述のうち日本薬局方上正しいのはどれか。

- ① *Uncaria rhynchophylla* と *Uncaria gambir*。
- ② *Uncaria rhynchophylla* と *Uncaria sinensis* 。
- ③ *Uncaria rhynchophylla* と *Uncaria macrophylla* 。
- ④ *Uncaria rhynchophylla* と *Uncaria sinensis* と *Uncaria gambir*。
- ⑤ *Uncaria rhynchophylla* と *Uncaria sinensis* と *Uncaria macrophylla* 。

解答：⑤

解説：

チョウトウコウ：カギカズラ *Uncaria rhynchophylla* Miquel, *Uncaria sinensis* Haviland 又は *Uncaria macrophylla* Wallich (Rubiaceae)の通例，とげで，ときには湯通し又は蒸したものである。

アセンヤク：*Uncaria gambir* Roxburgh (Rubiaceae)の葉及び若枝から得た水製乾燥エキス

他のアカネ科：サンシシ、トコン

問（42）芍薬の原植物に関して以下の記述のうち日本薬局方上正しいのはどれか。

- ① *Paeonia suffruticosa* のみ。
- ② *Paeonia lactiflora* のみ。
- ③ *Paeonia veitchii* のみ。
- ④ *Paeonia suffruticosa* と *Paeonia lactiflora* 。
- ⑤ *Paeonia suffruticosa* と *Paeonia lactiflora* と *Paeonia veitchii* 。

解答：②

解説：

シャクヤク：シャクヤク *Paeonia lactiflora* Pallas (*Paeoniaceae*)の根

ボタンピ：ボタン *Paeonia suffruticosa* Andrews (*Paeonia moutan* Sims) (*Paeoniaceae*)の根皮

セキシヤク：シャクヤク *Paeonia lactiflora* Pallas、*Paeonia obovata* Mazim、*Paeonia veitchii* Lynch (*Paeoniaceae*)の根

問 (43) 日本薬局方では生薬の乾燥温度が決められている。正しい温度はどれか。

- ① 90°C以下
- ② 80°C以下
- ③ 70°C以下
- ④ 60°C以下
- ⑤ 50°C以下

解答：④

解説：生薬総則3 生薬は、別に規定するもののほか、乾燥品を用いる。乾燥は、通例、60°C以下で行う。

問 (44) ユウタンは *Ursus arctos* Linné 又はその他近縁動物(Ursidae)の胆汁を乾燥したものである。非常に貴重な資源であり、高価であることから、異物の混入が懸念され、(成分名1)や(成分名2)の薄層クロマトグラフ法による純度試験が設定されている。成分名1と成分名2の組み合わせで正しいものはどれか。

- ① タウロウルソデオキシコール酸 ウシ胆汁粉末
- ② ウルソデオキシコール酸 ウシ胆汁粉末
- ③ グリココール酸ナトリウム ウシ胆汁粉末
- ④ タウロウルソデオキシコール酸 ブタ胆汁粉末
- ⑤ グリココール酸ナトリウム ブタ胆汁粉末

解答：④

解説：【参考情報】 栃本天海堂では2019年販売中止としたが、当時の卸売価格は10g 77,000円だった。
純度試験 他の動物胆 確認試験で得た試料溶液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用グリココール酸ナトリウム10mg及び薄層クロマトグラフィー用ブタ胆汁末20mgをそれぞれメタノール5mLに溶かし、標準溶液(1)及び標準溶液(2)とする。これらの液につき、確認試験を準用して試験を行うとき、試料溶液から得たスポットは標準溶液(1)から得たグリココール酸のスポットに対応する位置にスポットを認めない。また、標準溶液(2)から得たブタ胆汁末のRf値0.3付近のスポットに対応する位置に灰褐色～黒色のスポットを認めない。

確認試験 本品の粉末0.1gをとり、メタノール5mLを加え水浴中で10分間加温し、冷後、ろ過し、ろ

液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフィー用タウロウルソデオキシコール酸ナトリウム 10 mg をメタノール 5 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフィー〈2.03〉により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μ L ずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸(100)/トルエン/水混液(10:10:1)を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに希硫酸を均等に噴霧し、105°Cで 10 分間加熱するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得たスポットと色調及び Rf 値が等しい。

問 (45) 竜骨の記載として間違っているものはどれか。

- ① 大型哺乳動物の化石化した骨である。
- ② 本品は不定形の塊、または破片で、ときには円柱状の塊である。
- ③ 主に炭酸カルシウムからなる。
- ④ 本品をなめるとき舌に強く吸着する。
- ⑤ 本品は、特異なにおいがあり、味はわずかに辛い。

解答：⑤

解説：

本品は大型ほ乳動物の化石化した骨で、主として炭酸カルシウムからなる。

生薬の性状 本品は不定形の塊又は破片で、ときには円柱状の塊である。外面は淡灰白色を呈し、ところどころに灰黒色又は黄褐色の斑点を付けるものがある。外側部は質の緻密な 2～10 mm の層からなり、淡褐色を呈する多孔質部を包囲する。質は重くて堅いがややもろく、破碎すると小片及び粉末となる。本品はにおい及び味が無い。なめるとき、舌に強く吸着する。

問 (46) 生薬総則の条文で間違っているものはどれか。

- ① 生薬は、通例、全形生薬、切断生薬又は粉末生薬に分けて取り扱う。
- ② 粉末生薬のうち、別に規定するものについては賦形剤を加え、含量又は力価を調節することができる。
- ③ 生薬は、かび、昆虫又は他の動物による汚損物又は混在物及びその他の異物をできるだけ除いたものであり、清潔かつ衛生的に取り扱う。
- ④ 粉末生薬は、全形又は切断生薬を粗末、中末、又は細末としたものであり、通例、細末としたものについて医薬品各条に規定する。
- ⑤ 生薬に用いる容器は、別に規定するもののほか、密閉容器とする。

解答：④

解説：「粉末生薬は、全形又は切断生薬を粗末、中末、細末又は微末としたものであり、通例、細末としたものについて医薬品各条に規定する。」

問 (47) 日局の確認試験でヨウ素試液を使用しない生薬はどれか。

- ① ブクリョウ
- ② 山薬
- ③ 粳米
- ④ ヨクイニン
- ⑤ 麦芽

解答：⑤

解説：ヨウ素デンプン反応を利用した試験。デンプンがヨウ素によって青紫色に呈色する現象。これはヨウ素がデンプンに包摂されて呈色するもので、加熱すると脱色し、冷却により再び呈色する。この現象を利用し、ヨウ素滴定の終点検出や、食品中のデンプンの検出が可能になる。

- ①ブクリョウ：本品の断面又は粉末にヨウ素試液1滴を加えるとき、濃赤褐色を呈する。
- ②山薬：本品の切面に希ヨウ素試液を滴加するとき、暗青色を呈する。
- ③粳米：本品の粉末0.1gに水50mLを加え、水浴中で5分間加熱する。冷後、この液にヨウ素試液1滴を加えて振り混ぜるとき、液は青紫色を呈する。
- ④ヨクイニン：本品の横断面にヨウ素試液を滴加するとき、内乳は暗赤褐色、胚盤は暗灰色を呈する。

問 (48) トウモロコシ油は日局で「本品はトウモロコシ *Zea mays* Linné (*Gramineae*) の【 】から得た脂肪油である」と規定される。【 】内に入る語句は何か。

- ① 種子
- ② 果実
- ③ 果穂
- ④ 胚乳
- ⑤ 胚芽

解答：⑤

解説：トウモロコシ油

Corn Oil

OLEUM MAYDIS

本品はトウモロコシ *Zea mays* Linné (*Gramineae*)の胚芽から得た脂肪油である。

性状 本品は淡黄色澄明の油で、においはないか又は僅かににおいがあり、味は緩和である。

問 (49) 口にした際に辛味を感じない生薬はどれか。

- ① EUODIAE FRUCTUS

- ② ZANTHOXYLI FRUCTUS
- ③ CINNAMOMI CORTEX
- ④ CIMICIFUGAE RHIZOMA
- ⑤ ZINGIBERIS RHIZOMA

解答：④

解説：

- ①EUODIAE FRUCTUS 吳茱萸：本品は特異なおいがあり，味は辛く，後に残留性の苦味がある．
- ②ZANTHOXYLI FRUCTUS 山椒の実？。山椒：ZANTHOXYLI PIPERITI PERICARPIUM
- ③CINNAMOMI CORTEX 桂皮：本品は特異な芳香があり，味は甘く，辛く，後にやや粘液性で，僅かに収れん性である．
- ④CIMICIFUGAE RHIZOMA 升麻：本品はほとんどにおいがなく，味は苦くて僅かに渋い．
- ⑤ZINGIBERIS RHIZOMA 生姜：本品は特異なおいがあり，味は極めて辛い．

問 (50) 右の写真に示す薬用植物は何か

- ① *Crataegus pinnatifida* var. *major*
- ② *Cornus officinalis*
- ③ *Schisandra chinensis*
- ④ *Rosa multiflora*
- ⑤ *Alpinia officinarum*



解答：①

解説：

- ①山査子
- ②山茱萸
- ③五味子
- ④當実
- ⑤良姜



問 (51) 原植物が有毒植物ではなく野菜としても利用できる生薬はどれか。

- ① イレイセン
- ② サイシン
- ③ ウイキョウ
- ④ ベラドンナコン
- ⑤ ロートコン

解答：③

解説：ウイキョウはフェンネルとも呼ばれ香辛料として使用される。

①キンボウゲ科

②ウマノスズクサ科

④ヨーロッパでは古くから「悪魔の草」と呼ばれる猛毒の植物で、しばしば毒薬に使用された。

⑤ハシリドコロの根茎および根。誤って食べると興奮状態を引き起こし、ところかまわず走ることからハシリドコロの名がある。成分にはトロパンアルカロイドのヒヨスチアミン、アトロピン、スコポラミンなどが含まれ、極めて強い毒性がある。

問（52）CARTHAMI FLOS に関する記載で正しいものはどれか。

① 種子にはオメガ3脂肪酸が多く含まれ、薬用にされる。

② エジプト原産で、染料植物でもある。

③ 原植物は万葉集にも詠まれるキンボウゲ科の植物である。

④ 原植物はシソ科の植物で、茎は四角い。

⑤ 薬用部以外は有毒であり、注意が必要である。

解答：②

解説：コウカ（紅花）についての問いである

①リノール酸などの必須脂肪酸を多く含む。

③キンボウゲ科ではなくキク科

④この記載はシソ科植物の特徴

⑤薬用部位は管状花。種子からサフラワー油をつくる。

問（53）ビンロウジに関する記載で間違っているものはどれか。

① 熱帯地方由来の薬物で、漢方処方には配合されない。

② 主成分としてアルカロイドやタンニンを含む。

③ 原植物は Palmae に属する。

④ 東南アジアなどでは石灰とともに咀嚼する習慣がある。

⑤ 薬用部位は種子で、果皮は別生薬として利用される。

解答：①

解説：

①九味檳榔湯、女神散などに配合される

②○

③Palmae = ヤシ科

- ④ビンロウの未熟な果実の胚乳を縦に割り、石灰をまぶし、キンマの葉で包んだものをチューインガムのように噛む習慣がある。
- ⑤種子は檳榔子、果皮は大腹皮である。

問 (54) 麻黄に関する記載で正しいものはどれか。

- ① 一般に採集して間もない新鮮なものが良いとされる。
- ② 建中湯類に配合されることが多い。
- ③ 日本薬局方では原植物として同属の3種が収載される。
- ④ 原植物の仲間は約50種が知られるが、新大陸には分布しない。
- ⑤ 喘息患者への投与は禁忌である。

解答：③

解説：

- ①六陳のひとつとされ、古いものが良いとされる。「六陳」枳実、橘皮、麻黄、半夏、狼毒、莫茺萸。「八新」蘇葉、薄荷、菊花、赤小豆、桃花、沢蘭、槐花、款冬花。
- ②大・中・小いずれにも配合されない。
- ③*Ephedra sinica*、*Ephedra intermedia*、*Ephedra equisetina*の地上茎である。
- ④新大陸とは、南北アメリカとその近隣の島々（太平洋諸島）を集合的に表すものとして用いられるが、広くはオーストラリア大陸とその周辺諸島をも含み称せられる。これらの地域が発見される以前の欧州では、世界が欧州、アジア、アフリカ、すなわち「旧世界」からのみ形成されると考えられていた。つまり、旧世界から隔絶した世界であったので、新世界と呼ばれる。
- ⑤鎮咳、去痰、解熱、発汗等のために用いられる。

問 (55) 口にした時、唾液を黄色に染めない生薬はどれか。

- ① 黄連
- ② 黄柏
- ③ 大黄
- ④ 鬱金
- ⑤ 黄芩

解答：⑤

解説：

- ①黄連：本品は弱においがあり、味は極めて苦く、残留性で、唾液を黄色に染める。
- ②黄柏：本品は弱においがあり、味は極めて苦く、粘液性で、唾液を黄色に染める。
- ③大黄：本品は特異なおいがあり、味は僅かに渋くて苦い。かめば細かい砂をかむような感じがあり、唾液を黄色に染める。

- ④鬱金：本品は特異なおいがあり，味は僅かに苦く刺激性で，唾液を黄色に染める。
- ⑤黄芩：本品はほとんどにおいがなく，味は僅かに苦い。

問 (56) 水で湿らすことにより互いの鑑別がより確実になる生薬の組み合わせはどれか。

- ① 黄連末／黄柏末
- ② 黄連末／大黄末
- ③ 鬱金末／大黄末
- ④ センナ末／センブリ末
- ⑤ ブクリョウ末／チョレイ末

解答：①

解説：オウバクの確認試験(3) 本品に水を加えてかき混ぜるとき，液は粘液のためゲル状を呈する。

問 (57) アルカロイドを多く含み、有毒植物が多い科 (Family) はどれか。

- ① Ranunculaceae
- ② Compositae
- ③ Rosaceae
- ④ Umbelliferae
- ⑤ Liliaceae

解答：

解説：

- ①キンボウゲ科：トリカブト、レイジンソウ、ニリンソウなど
- ②キク科
- ③バラ科
- ④セリ科
- ⑤ユリ科

問 (58) 日局の製剤総則の条文で、間違っているものはどれか。

- ① 浸剤及び煎剤は、いずれも生薬を、通例、常水で浸出して製した液状の製剤である。
- ② チンキ剤は、通例、生薬をエタノール又はエタノールと精製水の混液で浸出して製した液状の製剤である。
- ③ エキス剤は、生薬の浸出液を濃縮して製したもので、通例、軟エキス剤と硬エキス剤がある。
- ④ 芳香水剤は、精油又は揮発性物質を飽和させた、澄明な液状の製剤である。
- ⑤ 茶剤は、通例、生薬を粗末から粗切の大きさとし、一日量又は一回量を紙又は布の袋に充填し

た製剤である。

解答：③

解説：

[4] 生薬関連製剤各条

生薬関連製剤 Preparations Related to Crude Drugs

(1) 生薬関連製剤は、主として生薬を原料とする製剤であり、エキス剤、丸剤、酒精剤、浸剤・煎剤、茶剤、チンキ剤、芳香水剤及び流エキス剤を含む。生薬関連製剤各条は、剤形の定義、製法、試験法、容器、包装及び貯法を示すものである。

1. エキス剤 Extracts

(1) エキス剤は、生薬の浸出液を濃縮して製したもので、通例、次の2種類がある。

(i) 軟エキス剤 (ii) 乾燥エキス剤

問 (59) 甘みが強い生薬はどれか。

- ① トラガント
- ② レンニク
- ③ ボウコン
- ④ リュウガンニク
- ⑤ コンズランゴ

解答：④

解説：

- ①本品はにおいがなく、味はないが粘滑性である。
- ②本品はほとんどにおいがなく、味は僅かに甘く、やや油様で、胚は極めて苦い。
- ③本品はにおいがなく、味は初めなく、後に僅かに甘い。
- ④本品は特異なにおいがあり、味は甘い。
- ⑤本品は僅かに弱いにおいがあり、味は苦い。

問 (60) 長期間服用することによって「腸間膜静脈硬化症」を起こす可能性があるという注意が喚起されている生薬はどれか。

- ① 石膏
- ② 山梔子
- ③ 芒硝
- ④ 黄芩
- ⑤ 当帰

解答：②

解説：添付文書にも重大な副作用として記載されている。【参考情報】トチモトのサンシシ添付文書

2024年3月改訂(第1版)
貯法：室温保存
有効期間：5年
生薬

日本標準商品分類番号	875100
承認番号	15700AMZ00887000
販売開始	不明

医療用
500g

日本薬局方 サンシシ トチモトのサンシシ

10090
山梔子(刻)

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名：トチモトのサンシシ
有効成分：1g中、日局サンシシ1g含有
添加剤：なし

4. 効能又は効果 漢方処方の調剤に用いる。

6. 用法及び用量 漢方処方の調剤に用いる。

8. 重要な基本的注意

8.1 本剤の使用にあたっては、漢方処方における患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

8.2 サンシシ含有製剤の長期投与(多くは5年以上)により、大腸の色調異常、浮腫、びらん、潰瘍、狭窄を伴う腸間膜静脈硬化症があらわれるおそれがある。長期投与する場合にあっては、定期的にCT、大腸内視鏡等の検査を行うことが望ましい。[11.1.1参照]

8.3 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

11. 副作用 次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

11.1.1 腸間膜静脈硬化症(頻度不明)

長期投与により、腸間膜静脈硬化症があらわれることがある。腹痛、下痢、便秘、腹部臌満等が繰り返しあらわれた場合、又は便潜血陽性になった場合には投与を中止し、CT、大腸内視鏡等の検査を実施するとともに、適切な処置を行うこと。なお、腸管切除術に至った症例も報告されている。[8.2参照]

20. 取扱い上の注意

20.1 本品の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。

20.2 開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。

20.3 本品は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

22. 包装 500g [袋、脱酸素剤入]

24. 文献請求先及び問い合わせ先

株式会社 栃本天海堂 お客様相談窓口
大阪市北区末広町3番21号
TEL：06-7711-0730

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元 株式会社 栃本天海堂
大阪市北区末広町3番21号

<販売包装単位>

(17)000000(10)00000000



(01)14987466321180

<調剤包装単位>



(01)04987466221186

製造番号

使用期限

クチナシ *Gardenia jasminoides* J. Ellis (*Rubiaceae*) の
果実で、ときには湯通し又は蒸したもの

問(61) 異物同名品を含め、重篤な腎障害を起こすアリストロキア酸の含有に注意する必要が無い生薬はどれか。

① 木香

- ② 木通
- ③ 防已
- ④ 半夏
- ⑤ 細辛

解答：④

解説：異物同名品とは、基原が異なるが、同じ生薬として扱われるもののこと。
次のいずれもウマノスズクサ科であり、アリストロキア酸を含んでいる。

- ①青木香
- ②関木通
- ③広防已
- ⑤細辛：地上部に含有している

問（62）トウモロコシに関する記載で正しいものはどれか。

- ① デンプンが日局に医薬品として収載される。
- ② 髭（雌蕊）が日局に医薬品として収載される。
- ③ 髭根が日局に医薬品として収載される。
- ④ 種子デンプンがコウイの製造に利用される。
- ⑤ 精油が日局に医薬品として収載される。

解答：①④

解説：

- ①○トウモロコシデンプンは、日本薬局方の医薬品各条の化学薬品等に収載される（生薬等ではない）。
- ②髭（雌蕊）は、ナンバン毛として、民間薬として利用されるが、医薬品ではない
- ③ナンバン毛は、髭根ではない
- ④○
- ⑤JP トウモロコシ油は、精油ではなく、脂肪油

問（63）右図に示す薬用植物の撮影時期はいつか。

- ① 春
- ② 夏
- ③ 秋
- ④ 冬
- ⑤ いずれとも言えない



解答：③

解説：写真はクズの果実。夏に開花し、その後に長さ10センチほどの鞘状の果実ができる。

問（64）右図に示す薬用植物の撮影時期はいつか。

- ① 春
- ② 夏
- ③ 秋
- ④ 冬
- ⑤ いずれとも言えない



解答：④

解説：写真はビワの花。枇杷は初夏の果物だが、開花はその前の冬である。

問（65）国内需要の100%を日本産で供給されている生薬はどれか。

- ① ゲンノショウコ
- ② 当帰
- ③ 山椒
- ④ センブリ
- ⑤ 桜皮

解答：③

解説：現在は、韓国産も輸入される。

問（66）サイコの実植物はどれか

- ① ホタルサイコ
- ② ミシマサイコ
- ③ カワラサイコ
- ④ スズサイコ
- ⑤ オオホタルサイコ

解答：②

問（67）現在、国内で栽培生産されていない生薬はどれか。

- ① 柴胡
- ② 連翹

- ③ 川芎
- ④ 地黄
- ⑤ 呉茱萸

解答：②

解説：

- ①日本でも栽培されている。
- ②公園などでは植えられているが、結実せず、生薬としての生産はない。
- ③大半が日本産で賄われている。
- ④現在は、ほとんど栽培されていない。
- ⑤？

問（68）舐めた際に下に吸い付く感じがする生薬はどれか。

- ① PORIA
- ② OSTREAE TESTA
- ③ GIPSUM FIBROSUM
- ④ DIGENEA
- ⑤ FOSSILIA OSSIS MASTODI

解答：⑤

解説：

- ①茯苓
- ②牡蠣
- ③石膏
- ④マクリ
- ⑤竜骨：本品はにおい及び味がない。なめるとき、舌に強く吸着する。

問（69）盛夏の頃には原植物の地上部が見られない生薬はどれか。

- ① 夏枯草
- ② 知母
- ③ 遠志
- ④ 延胡索
- ⑤ 天麻

解答：④ 早春に咲く



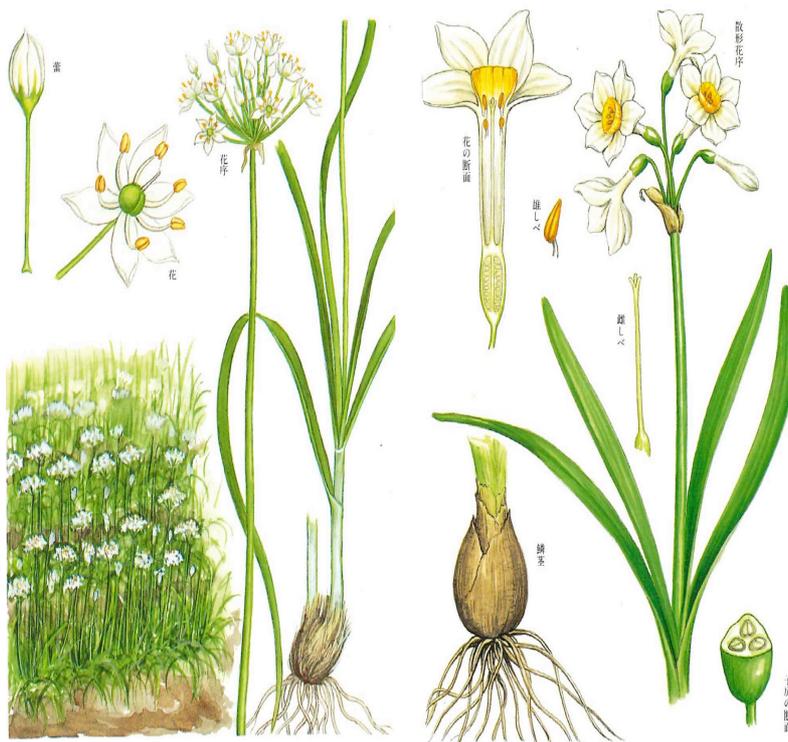
問 (70) 庭に植えられて誤食による中毒例が多い有毒植物は何か

- ① スイセン
- ② ヤマゴボウ
- ③ トリカブト
- ④ キョウチクトウ
- ⑤ ハシリドコロ

解答：①

解説：ニラと間違われて中毒となる。

『原色牧野和漢薬大図鑑』北隆館



問 (71) 五苓散に関する説明で正しいものはどれか。

- ① 苓がつく生薬5種類が配合されている。
- ② 苓がつく生薬4種類が配合されている。
- ③ 苓がつく生薬3種類が配合されている。
- ④ 胃内停水を改善する半夏が処方されている。
- ⑤ 配合量が最も多い生薬は沢瀉である。

解答：⑤

解説：猪苓、茯苓、沢瀉、桂皮、白朮。

問（72）葛根湯に配合されていない生薬はどれか。

- ① 桂皮
- ② 甘草
- ③ 人参
- ④ 麻黄
- ⑤ 芍薬

解答：③

解説：桂枝湯（桂皮、芍薬、大棗、生姜、甘草）+葛根、麻黄。

問（73）八味地黄丸に関連する記載で、間違っているものはどれか。

- ① 別名を牛車腎気丸ともいう。
- ② 六味地黄丸には附子が配合されていない。
- ③ 利尿剤としてブクリョウやタクシャが配合されている。
- ④ 小便過多にも小便不利にも応用できる。
- ⑤ 臍下不仁は重要な診断基準のひとつである。

解答：①

解説：八味地黄丸＝地黄、山茱萸、山薬、沢瀉、茯苓、牡丹皮、桂皮、附子

①牛車腎気丸＝八味地黄丸+牛膝、車前子

②六味地黄丸＝八味地黄丸－桂皮、附子

問（74）小柴胡湯と大柴胡湯に共通している生薬の組み合わせで正しいものはどれか。

- ① 柴胡・半夏・黄芩・大棗・甘草
- ② 柴胡・半夏・黄芩・大棗・生姜
- ③ 柴胡・半夏・黄芩・芍薬・生姜
- ④ 柴胡・黄芩・大棗・芍薬・甘草
- ⑤ 柴胡・黄芩・芍薬・生姜・甘草

解答：②

解説：

小…柴胡、半夏、黄芩、人参、大枣、生姜、甘草

大…柴胡、半夏、黄芩、芍药、大枣、生姜、枳实、大黄

問（75）次の漢方処方の中で煎じ液の濁りが最も著しいものはどれか。

- ① 大黄甘草湯
- ② 芍药甘草湯
- ③ 五苓散料
- ④ 麻黄湯
- ⑤ 三黄瀉心湯

解答：⑤

解説：

- ① 大黄甘草湯：大黄、甘草
- ② 芍药甘草湯：芍药、甘草
- ③ 五苓散：猪苓、茯苓、泽瀉、桂皮、白朮。
- ④ 麻黄湯：麻黄、杏仁、桂皮、甘草
- ⑤ 三黄瀉心湯：大黄、黄芩、黄连

問（76）次に示す漢方薬の中で補剤に相当するものはどれか。

- ① 真武湯
- ② 葛根湯
- ③ 防風通聖散
- ④ 小青龍湯
- ⑤ 麻黄湯

解答：①

解説：

- ① 真武湯：茯苓、芍药、生姜、白朮、附子
- ② 葛根湯：葛根、麻黄、大枣、桂皮、芍药、甘草、生姜
- ③ 防風通聖散：当归、川芎、白芷、山梔子、連翹、薄荷、生姜、荆芥、防風、麻黄、白朮、桔梗、黄芩、甘草、石膏、滑石、大黄、芒硝
- ④ 小青龍湯：麻黄、芍药、乾姜、甘草、桂皮、細辛、五味子、半夏
- ⑤ 麻黄湯：麻黄、杏仁、桂皮、甘草

問（77）次に示す漢方薬の中で婦人科疾患に応用される機会が多い処方はどれか。

- ① 小柴胡湯
- ② 桂枝茯苓丸
- ③ 大柴胡湯
- ④ 大黃甘草湯
- ⑤ 芍藥甘草湯

解答：②

問（78）三品分類について正しい記載はどれか。

- ① 本草綱目で初めて採用された。
- ② 大和本草で初めて採用された。
- ③ 薬理作用の強弱で分類した。
- ④ 概ね使用頻度で分類した。
- ⑤ 名医別録で初めて採用された。

解答：③

解説：『神農本草経』の序文によると、365種の薬物が効能（薬効の強弱）によって上・中・下の3種に分類されています。それぞれ上薬、中薬、下薬、あるいは上品、中品、下品との呼ばれるため、この分類方法は「三品分類」と呼ばれ、中国医学独特の考え方です。

上薬に属する120種は、無毒で、命を養います。多量または長期にわたって服用しても人体に害はありません。不老長生を願うものはこれを用います。

中薬に属する120種は、上薬を助ける作用をもち、体の抵抗力を養います。有毒なものや無毒なものがあり、うまく加減して用います。病気の進行を阻止し、体が弱り衰えた状態を補うにはこれを用います。

下薬に属する125種は上薬や中薬を補佐する作用をもち、病気を治療します。毒性が強く、長く服用してはいけません。病気の原因となっている邪毒を除き、鬱積（うっせき）するものを破り散らす作用があり、病気の積極的な治療にはこれを用います。

問（79）明代の李時珍が著した本草書名は何か。

- ① 本草綱目啓蒙
- ② 本草綱目
- ③ 本草原始
- ④ 本草啓蒙
- ⑤ 名医別録

解答：②

解説：

- ①本草綱目啓蒙：江戸時代・小野蘭山著
- ②本草綱目：明・李時珍著
- ③本草原始：明・李中立撰
- ④本草啓蒙：存在しないと思われる
- ⑤名医別録：後漢

問（80）右に示す『図経本草』に描かれた図の原植物は何か。

- ① *Pueraria lobata*
- ② *Vitis* sp.
- ③ *Piper longum*
- ④ *Dioscorea* sp.
- ⑤ *Schizandra chinensis*

解答：④

解説：薯蕷は山薬のこと

- ①クズ 葛根
- ②ブドウ
- ③ヒハツ
- ④ヤマノイモ
- ⑤チョウセンゴミシ 五味子

